

事業所名

児童デイサービス悠湯館

支援プログラム

作成日

2026年

2月

15日

法人（事業所）理念		全利用者さんを対象に【本人の困りごと・生きづらさ】を少しでも緩やかなものに。成長と発見をテーマに精神的・身体的機能を最大限に伸ばし、一人一人の発達段階に合った内容を 考え、自立を目指した生活習慣の獲得を目指していきます。					
支援方針		・目の前の利用者さんに必要な活動を。・出来ることを増やしていきます。・それぞれの利用者さんの課題や特性に配慮した、丁寧に寄り添った支援を行っていきます。					
営業時間		平日	13時00分～19時00分	土曜・祝日 長期休暇	9時00分～17時00分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・毎日の健康管理と必要な対応を行います。小さなサインから心身の異変に気付けるよう、観察を行います。・登降所時の身辺整理(靴の用意や着脱、荷物の整理、提出物の管理など)を利用者さんに合わせ実地し、習慣化出来るよう支援していきます。・睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身に付けられるよう決まった時間での誘導と支援を行います。・生活の中での課題を利用者さん、ご家族から伺い、個別支援として取り組みます。					
	運動・感覚	・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動機能の観察を行い、必要に応じて個別支援として支援を行います。					
	認知・行動	・認知の偏りを把握し、適宜支援を行うことで拘りや忌避感を軽減出来るように支援します。・利用者さんが認知・解釈しやすいように環境を整え、ストレスなく過ごすことができる よう支援します。・集団活動や政策活動にて、各感覚を刺激し興味の幅を広げることが出来るように支援していきます。					
	言語 コミュニケーション	・インリアルアプローチを基本とし、コミュニケーションの経験を積むことが出来るように支援していきます。・絵カードやサイン等を用いて、言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援していきます。・集団活動を通して、他者とのやり取りの場を提供し、職員が間に入り援助、支援します。					
	人間関係 社会性	・思いに寄り添った言葉かけに努め、職員と利用者さんの良好な関係形成を図ります。・集団活動を通して、ルールや順番を守ることや、協調した関わりをもてるように支援していきます。・他者との適正な距離感を把握出来るように、適宜声掛けを行い、他者との良好な関係形成を支援します。					
家族支援		・連絡帳や送迎時の会話などで随時情報共有をすると共に、必要に応じて面談を設けて、不安や困りごとへの相談援助を行います。			移行支援		・学校や関連の福祉施設と情報交換をし、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。
地域支援・地域連携		・地域の児童館や公園に行き、利用者さん以外の他者と関りや交流が持てるように支援していきます。			職員の質の向上		・事業所会議の実地・各研修会への参加・職員会議の実地。
主な行事等		・誕生日会・クリスマスや初詣など、季節ごとのイベント・長期休暇にはミストシャワーやおやつ作り。					